|  |  |
| --- | --- |
| 分野名 | 会計分野（財務会計Ⅰ） |
| 　教科書 | 高校財務会計Ⅰ（実教出版） |
| 単元 | 章 | 第12章　純資産 |
| 節 | 第２節　 資本金 |
| 教材のタイトル | クラウドファンディングから考える資金調達 |
| 教材からの学び | １　資金調達方法の種類を理解し、それぞれのメリット・デメリットを踏まえ、資金調達の意思決定をする能力を養う。２　新しい資金調達の方法であるクラウドファンディングの理解を深め、種類によるメリット・デメリットを理解するとともに、クラウドファンディングの成功要因について考えを深めることができる。３　根拠を明確にして説明する能力を養う。 |
| 時間数 | ２時間 |
| 授業の進め方 | ＜クラウドファンディングから考える資金調達＞１　ワークシートを配付し、１・２を活用しながらクラウドファンディングについて講義を行う。３・４については個人で考えさせる（１時間）。２　５に沿ってグループでの意見共有を行う。５（３）を考えさせる前には、３について全体で意見共有を行うと、より学習効果が上がる。最後に５（３）について各グループから発表させ、全ての発表を聞いた後、個人での最終的な意思決定を行う（１時間）。 |

クラウドファンディングから考える資金調達　授業計画

■本単元の位置付け

第12章　純資産

第２節　 資本金

■本単元の目標

１時間目

新しい資金調達の方法であるクラウドファンディングの理解を深め、種類によるメリット・デメリットを理解するとともに、クラウドファンディングの成功要因について考えを深めることができる。また、資金調達方法の種類のメリットとデメリットについて理解する。

２時間目

　資金調達方法の違いによるメリット・デメリットを整理し、根拠を明確にして意思決定をすることができる。また、他者の意見から自己の考えを見直し、最終的な意思決定をすることができる。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

　・クラウドファンディングや資金調達方法など、複数の方法についてのメリット・デメリットを整理し、違いについて説明することができる。

【Ｂ】思考力・判断力・表現力

　・クラウドファンディングの成功事例・失敗事例から成功する要因について見いだすことができる。

　・資金調達方法の違いによるメリット・デメリットを整理し、根拠を明確にして意思決定をすることができる。また、他者の意見から自己の考えを見直し、最終的な意思決定をすることができる。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

　・事前課題の取り取組状況。

　・課題解決に対して、主体的に解決しようとしている。

・グループワークの中で積極的に発言している。

■留意事項

　・グループワークが円滑に進むように、適宜教員から指導・助言を行う。

【クラウドファンディングから考える資金調達】

**１　クラウドファンディングとは**

「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「個人または団体が考えたプロジェクトやアイデアを実現するために、賛同する不特定多数の人からインターネットを通じてお金を集める（出資してもらう）こと」です。

クラウドファンディングは、「手軽さ」「拡散性の高さ」「テストマーケティングにも使える有用性」といった点が魅力で新たな資金調達の仕組みとして近年注目されています。



**２　クラウドファンディングの種類を調べてみましょう。**

(１) 投資型クラウドファンディング

＜内容＞

＜支援者のメリット＞

＜支援者のデメリット＞

(２) 購入型クラウドファンディング

＜内容＞

＜支援者のメリット＞

＜支援者のデメリット＞

(3) 寄附型クラウドファンディング

＜内容＞

＜支援者のメリット＞

＜支援者のデメリット＞

**３　資金調達（お金を集める）方法の比較をしてみましょう。**

(１) あなたは、空を飛ぶ傘を開発するために資金（お金）を必要としています。次の３つの資金調達

の方法から、それぞれメリットとデメリットを挙げてください（個人学習）。

　　①自己資金：貯金から１,０００万円を投資する。

　　②銀行融資：金利（年利）２％で１,０００万円を借りる。

　　③増資：新たに株式を発行して１，０００万円を調達する。配当利回りは年４％。

　　④購入型クラウドファンディング：購入型クラウドファンディングで１,０００万円を目標に資金を募る。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | メリット | デメリット |
| ①自己資金 |  |  |
| ②銀行融資 |  |  |
| ③増資 |  |  |
| ④購入型クラウドファンディング |  |  |

(２) 購入型クラウドファンディングを選択した場合、資金が集まった後、どのような会計的な責任や義務が生じるでしょうか（個人学習）。

**４　クラウドファンディングの資金調達の成功事例と失敗事例を調べてみましょう**

**（個人学習）**

資金調達成功事例①＜会社名＞

＜プロジェクト名＞

＜プロジェクトの内容＞

＜成功要因＞

＜資金調達成功後のその後＞　※開発期間が延びた、事業継続できなかった、無事に開発できた等

資金調達失敗事例①＜会社名＞

＜プロジェクト名＞

＜プロジェクトの内容＞

＜失敗要因＞

**【これよりグループ学習】**

**５　今までの学習を踏まえ、グループで意見共有をしましょう。**

（１） クラウドファンディングの資金調達成功事例と失敗事例について調べてきたことを共有しましょう。

ア．成功事例（メモ）

イ．失敗事例（メモ）

（２）　クラウドファンディングを成功させる要因は何だと思いますか。

（３）今組んでいるグループで資金調達をします。３（１）（２）で学んだことを参考に資金調達方法を決定してください。条件は以下の通りとします。さまざまな角度から資金調達について考え、根拠を明確にして意思決定をしてください。

　　条件：①１億円を調達する。　②当社の当座資産残高は１億２千万円である。③銀行で融資を受ける場合は年利２％、１０年で返済する。　④増資の場合は株主に毎年配当を行い、配当利回りは４％とする。⑤購入型クラウドファンディングでは５万円寄付してくれた人に原価１万円の新商品を送る。

|  |
| --- |
| グループで決定した資金調達方法（〇を付ける）　　　　　自己資金　・　銀行借入　・　株式による増資　・　購入型クラウドファンディング |
| その理由（決定した資金調達方法と、他の資金調達方法を比較して根拠を明確にする） |

　【これより全体意見共有】

（４）各グループで意思決定をした資金調達方法について全体で意見共有しましょう。自分たちが選択した以外のデメリットを発表してもらっても構いません。全ての意見共有終了後、個人での最終的な意思決定をしてください（以下の表は意見を聞きながらメモをするための枠）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | メリット | デメリット |
| ①自己資金 |  |  |
| ②銀行融資 |  |  |
| ③増資 |  |  |
| ④購入型クラウドファンディング |  |  |

|  |
| --- |
| 全体の意見共有後、個人で最終決定した資金調達方法（〇を付ける）　　　　　自己資金　・　銀行借入　・　株式による増資　・　購入型クラウドファンディング |
| グループで決定した資金調達方法と　　変わった　　・　　　変わらなかった　　（〇を付ける） |
| なぜ変わった（もしくは変わらなかった）のか？？ |

年　　　　組　　　　　　番　　　　氏名

**（　　　　）年（　　　　）組（　　　　）番　　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**

**＜振り返りシート＞**

**１　事前課題にしっかり取り組むことができたか。**

**できた　　　まあできた　　　あまりできなかった　　　できなかった**

**２　グループワークで積極的に話すことができたか。**

**できた　　　まあできた　　　あまりできなかった　　　できなかった**

**３　他人の意見をしっかりと聞くことができたか。**

**できた　　　　まあできた　　　あまりできなかった　　　できなかった**

**４　グループで協力して新しい意見を導くことができたか。**

**できた　　　　まあできた　　　あまりできなかった　　　できなかった**

**５　他の人の発表を聞いて、参考になったこと。**

**６　グループワークを終えての感想、改善点など。**

**７　クラウドファンディングを成功させるためには、何が必要か？**

これより教師用参考資料

【クラウドファンディングから考える資金調達】

**１　クラウドファンディングとは**

「群衆（クラウド）」と「資金調達（ファンディング）」を組み合わせた造語で、「個人または団体が考えたプロジェクトやアイデアを実現するために、賛同する不特定多数の人からインターネットを通じてお金を集める（出資してもらう）こと」です。

クラウドファンディングは、「手軽さ」「拡散性の高さ」「テストマーケティングにも使える有用性」といった点が魅力で新たな資金調達の仕組みとして近年注目されています。



**２　クラウドファンディングの種類を調べてみましょう。**

(１) 投資型クラウドファンディング

＜内容＞企業やプロジェクトに対して資金を提供し、その見返りとして株式や利益の一部を受け取る形式。スタートアップ企業や新規事業の資金調達手段として利用される。

＜支援者のメリット＞投資した企業やプロジェクトが成功した場合、配当や株価の上昇による利益を得ることができる。成長が期待される企業に早期に投資できる点も魅力。

＜支援者のデメリット＞投資にはリスクが伴い、企業やプロジェクトが失敗した場合、投資額を失う可能性がある。また、投資先の情報が限られていることもある。

(２) 購入型クラウドファンディング

＜内容＞支援者が新商品やサービスを事前に購入することで、プロジェクトを支援する形式。プロジェクトが成功すれば、支援者は商品やサービスを受け取ることができる。

＜支援者のメリット＞支援者は新商品をいち早く手に入れることができ、また、プロジェクトの成功に貢献する満足感を得られる。

＜支援者のデメリット＞プロジェクトが失敗した場合、商品やサービスが届かないリスクがある。また、商品の品質や納期が期待通りでないこともある。

(3) 寄附型クラウドファンディング

＜内容＞社会貢献や慈善活動を目的としたプロジェクトに対して寄付を行う形式。支援者は見返りを求めず、純粋にプロジェクトを支援する。

＜支援者のメリット＞社会貢献や慈善活動に参加することで、満足感や達成感を得ることができる。また、寄付金の使途を知ることで、透明性の高い支援が可能。

＜支援者のデメリット＞金銭的なリターンがないため、純粋に支援の意義を感じられる人向け。また、プロジェクトの進捗や成果が期待通りでない場合もある。

**３　資金調達（お金を集める）方法の比較をしてみましょう（個人学習）。**

(１) あなたは、空を飛ぶ傘を開発するために資金（お金）を必要としています。次の３つの資金調達

の方法から、それぞれメリットとデメリットを挙げてください。

　　①自己資金：貯金から１,０００万円を投資する。

　　②銀行融資：金利（年利）２％で１,０００万円を借りる。

　　③増資：新たに株式を発行して１，０００万円を調達する。配当利回りは年４％。

　　④購入型クラウドファンディング：購入型クラウドファンディングで１,０００万円を目標に資金を募る。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | メリット | デメリット |
| ①自己資金 | 自己資金を使うため、返済義務や利息が発生しない。資金調達の手続きが簡単で迅速に進められる。外部の干渉を受けない。 | 自己資金を全額投資するため、個人の財務リスクが高まる。失敗した場合、全額を失う可能性がある。資金が限られる。 |
| ②銀行融資 | 銀行からの融資は比較的安定しており、計画的な返済が可能。自己資金を温存しつつ、必要な資金を確保できる。 | 金利が発生するため、返済総額が増える。返済義務がある。融資審査が厳しく、時間がかかる場合がある。 |
| ③増資 | 資金調達に成功すれば、返済義務がなく、資金を自由に使える。株主からの支援やアドバイスを受けられる可能性がある。 | 株式を発行することで、既存の株主の持ち分が希薄化する。配当金の支払い義務。株主の意見や要求に対応する必要がある。 |
| ④購入型クラウドファンディング | 多くの支援者から資金を集めるため、リスクが分散される。プロジェクトの認知度が向上し、マーケティング効果が期待できる。 | 目標金額に達しない場合、資金が集まらないリスクがある。リターンとして商品やサービスを提供するため、コストが発生する。 |

(２) 購入型クラウドファンディングを選択した場合、資金が集まった後、どのような会計的な責任や義務が生じるでしょうか。

購入型クラウドファンディングで資金が集まった場合、以下の会計的な責任や義務が生じる。まず、集まった資金は「前受金」として計上され、支援者に対する商品やサービスの提供が完了するまで負債として扱われる。この時点で、支援者に対するサービスの提供が義務となる。商品やサービスの提供が完了した時点で「売上」に振り替えられる。また、クラウドファンディングプラットフォームに支払う手数料の支払いも生じる。これは「販売費及び一般管理費」として計上される。税務上は、売上として認識されるため法人税や所得税の対象となる。消費税の課税事業者であれば、消費税の申告と納付も必要である

**４　クラウドファンディングの資金調達の成功事例と失敗事例を調べてみましょう**

**（個人学習）**

資金調達成功事例①＜会社名＞

＜プロジェクト名＞

＜プロジェクトの内容＞

＜成功要因＞

＜資金調達成功後のその後＞　※開発期間が延びた、事業継続できなかった、無事に開発できた等

資金調達失敗事例①＜会社名＞

＜プロジェクト名＞

＜プロジェクトの内容＞

＜失敗要因＞

**【これよりグループ学習】**

**５　今までの学習を踏まえ、グループで意見共有をしましょう。**

（１） クラウドファンディングの資金調達成功事例と失敗事例について調べてきたことを共有しましょう。

ア．成功事例（メモ）

イ．失敗事例（メモ）

（２）　クラウドファンディングを成功させる要因は何だと思いますか。

（３）今組んでいるグループで資金調達をします。３（１）（２）で学んだことを参考に資金調達方法を決定してください。条件は以下の通りとします。さまざまな角度から資金調達について考え、根拠を明確にして意思決定をしてください。

　　条件：①１億円を調達する。　②当社の当座資産残高は１億２千万円である。③銀行で融資を受ける場合は年利２％、１０年で返済する。　④増資の場合は株主に毎年配当を行い、配当利回りは４％とする。⑤購入型クラウドファンディングでは５万円寄付してくれた人に原価１万円の新商品を送る。

|  |
| --- |
| グループで決定した資金調達方法（〇を付ける）　　　　　自己資金　・　銀行借入　・　株式による増資　・　購入型クラウドファンディング |
| その理由（決定した資金調達方法と、他の資金調達方法を比較して根拠を明確にする） |

　【これより全体意見共有】

（４）各グループで意思決定をした資金調達方法について全体で意見共有しましょう。自分たちが選択した以外のデメリットを発表してもらっても構いません。全ての意見共有終了後、個人での最終的な意思決定をしてください（以下の表は意見を聞きながらメモをするための枠）。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | メリット | デメリット |
| ①自己資金 |  |  |
| ②銀行融資 |  |  |
| ③増資 |  |  |
| ④購入型クラウドファンディング |  |  |

|  |
| --- |
| 全体の意見共有後、個人で最終決定した資金調達方法（〇を付ける）　　　　　自己資金　・　銀行借入　・　株式による増資　・　購入型クラウドファンディング |
| グループで決定した資金調達方法と　　変わった　　・　　　変わらなかった　　（〇を付ける） |
| なぜ変わった（もしくは変わらなかった）のか？？ |

年　　　　組　　　　　　番　　　　氏名